

日本医師会 企画・広告商品のご案内

3つの医師向けプロモーションツールのご紹介

医師向け情報提供で大切なことは、
発信元の信頼性です。
最も永く、最も多くの先生方に
信頼されている情報誌

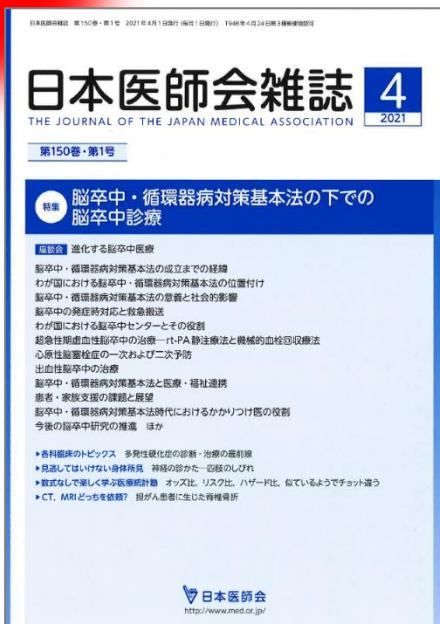
今回は特に、
「日本医師会雑誌」
「日本医師会雑誌カラー図説」
「日医ニュース：健康ぶらざ」
をご紹介致します。

日本医師会発行の情報提供資料ご紹介

医師向け情報の信頼性が問題となっている昨今、医師向け医学情報提供の草分け的存在「日本医師会雑誌」をご紹介致します。

医師の生涯教育を目的に発行されている「日本医師会雑誌」ですが、医師に対する情報提供のあり方が見直されている今、すべての会員に有用な情報を提供することが使命とも言えます。

日本において最も永く、最も多くの医師に愛読されている「日本医師会雑誌」は、医師向け情報提供の質を向上させ、製薬各社をはじめ医療・介護・福祉の関連企業、からの有用なインフォメーションをすべての医師会会員並びに患者様に行き渡らせるため、さまざまな取り組みを行っております。



サイズ：B5判

日本医師会雑誌とは全く目的の異なる、医師会会員向けの医療政策時事を提供する「日医ニュース」もございます。



サイズ：B4判

約13万5千人の会員医師の日常診療を多面的に支える 『日本医師会雑誌』と『日医ニュース』

日本医師会雑誌の特徴

- 日本医師会会員約13万5千人にリーチする日本最大級の医学総合誌
- 勤務医も開業医にも広く愛読される雑誌
- 毎号、日常診療や話題の学術トピックを選定、専門医やオピニオンによる座談会も掲載

日医ニュースの特徴

- 日本医師会全会員はもとより、報道関係はじめ、国会議員、政府機関、自治体、関係団体に配布
- 医師会の諸活動の情報伝達を主に、社会保険・医薬品の関係通知も網羅。省庁他との報告事項なども掲載

● 日本医師会員の構成

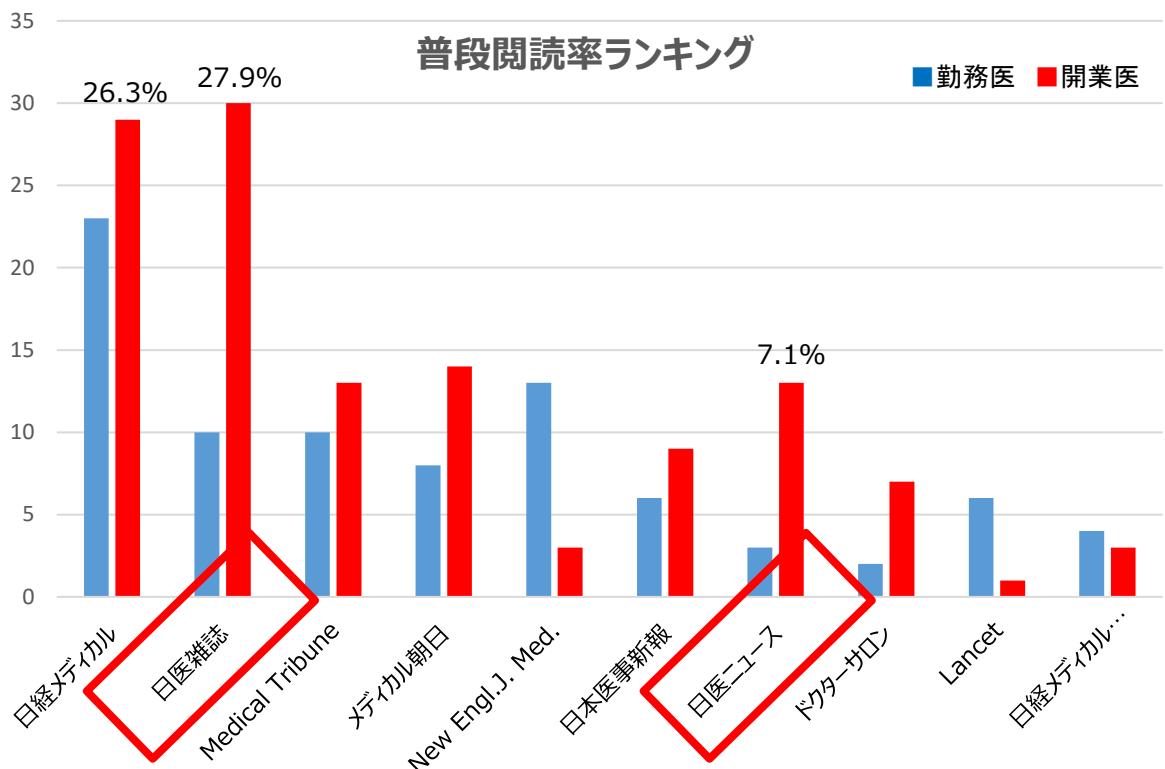
開業医と勤務医ほぼ同数。診療科はほぼ全てを網羅。



日本医師会雑誌の発行部数**37,000部（2017年9月現在）*** 日医on-lineにて全日医会員が閲読可能
会員のほか、地域医師会、関係官庁、医学部図書館などに直送

商業誌に負けない閲読率！ 医師に信頼の日本医師会ブランド！

● 医師のメディアに対する意識調査



対象：医師1,570名（勤務医950名、開業医620名）

調査方法：首都圏（1都6県）及び関西圏（6府4県）で診療を行う医師にメディア接触状況や活用について
インターネット（SSRI【株式会社 社会情報サービス：S-DMR】にて調査した。）

調査時期：2014年2月～3月実施

日本医師会雑誌は、普段閲読している雑誌として開業医で最も閲読率が高く、医師全体では第2位でした。

発行部数の多さからも、医師に広く愛読されている総合学術誌と言えます。（発行部数日経メディカル105,097部、日医雑誌137,000部）

是非、ご出稿をご検討ください。

会員医師の日常診療をアシスト 日本医師会生涯教育協力講座『カラー図説』

- 日本医師会雑誌 カラー図説は生涯教育の一環として、「出稿社」からの新薬情報や話題の疾患などを紹介し、会員医師への学術情報を提供するページです。

● 過去事例紹介

● 座談会

● 概論・学術記事
(Drによる執筆)

● カラー図説の特徴

1. 1953年より掲載、2019年で66年目を迎えるロングラン企画
2. 日本医師会の発行物で唯一協賛社の出稿が可能
3. 生涯教育講座の一環として、日常診療から知っておきたい新規概念の疾患や治療薬まで、臨床ニーズに応じた学術情報を発信
4. 日本医師会雑誌の企画・編集をする学術企画委員会での応諾が必要であり、信頼性の高い情報提供
5. モノクロ印刷の本文と差別化したカラー印刷、図を多く取り入れ分かりやすい誌面構成に配慮

誰でも見たことがある！

診察室と待合室を繋ぐ『健康ぶらざ』

- 日本医師会発行 日医ニュースの綴込みを活用した市民への疾患啓発、および会員医師への情報提供（広告）枠です。

ポスター面：市民向け啓発



毎号
綴り込み

【活用事例】

- ・企業名（ブランド）訴求
- ・製品に関連したテーマ設定*

*日医広報委員により策定

広告面：日医会員向け広告枠



【活用事例】

- ・社名（変更）告知、・記事広告
- ・一般生活者・患者向け啓発冊子紹介
(MRでカバーできない施設へのアプローチ)
- ・純広告、・webサイトのご案内 など

待合室に掲示



啓発イメージ



日医ニュース
同梱物として
会員へ

● 健康ぶらざの特徴

1. 1997年より発行、本年計500号を迎えるロングラン企画
2. 待合室で愛用されている市民向けの解説ポスター。院内で広く活用されており医師の閲読率が高い
3. ポスター面は、日本医師会・広報委員会の選定する第一線の専門家が監修する信頼性の高い情報提供ツール

出稿 料金表①

媒体名	日本医師会雑誌（通常号）*1	
広告種別*2	広告入数	広告料金（円）
綴込広告 (巻末に綴込み)	1点（2頁）	480,000
カラー図説 (冊子中央に綴込み)	4頁	720,000
広告体裁	別途、媒体資料ご参照	
日本医師会雑誌 学術企画委員会 (敬称略) (令年度4月現在)	<p>委員長 跡見 裕 杏林大学名誉学長・外科</p> <p>副委員長 北川 泰久 東海大学名誉教授・神経内科</p> <p>委員（50音順） 荒井 陽一 宮城県立病院機構宮城県立がんセンター総長・泌尿器科 五十嵐 隆 国立成育医療研究センター理事長・小児科 機部 光章 日本心臓血管研究振興会附属榎原記念病院院長/ 東京医科歯科大学名誉教授・循環器内科 大曲 貴夫 国立国際医療研究センター 国際感染症センター長・感染症内科 岡田 浩一 埼玉医科大学医学部教授・腎臓内科 小川 郁 慶應義塾大学医学部教授・耳鼻咽喉科 片山 一朗 大阪市立大学大学院医学研究科色素異常症治療開発共同研究部門特任教授・皮膚科 黒川 峰夫 東京大学大学院医学系研究科教授・血液・腫瘍内科 佐田 尚宏 自治医科大学医学部教授/附属病院病院長・消化器外科 杉浦 真弓 名古屋市立大学大学院医学研究科教授・産婦人科 高橋 和久 順天堂大学大学院医学研究科教授/ 附属順天堂医院院長・呼吸器内科 滝川 一 帝京大学医療技術学部長/名誉教授/内科客員教授・消化器内科 田中 栄 東京大学大学院医学系研究科教授・整形外科 寺崎 浩子 名古屋大学未来社会創造機構特任教授・眼科 福田 国彦 学校法人慈恵大学名誉教授・放射線科 三村 將 慶應義塾大学医学部教授・精神・神経科 弓倉 整 弓倉医院院長・内科、循環器内科 横田 裕行 日本体育大学大学院保健医療学研究科研究科長、教授/ 日本医科大学名誉教授・救急医学、脳神経外科 横田 美幸 がん研究会有明病院麻酔科部長・麻酔科 横手幸太郎 千葉大学大学院医学研究院教授/ 附属病院病院長・内分泌代謝・血液・老年内科 渡邊 善則 東邦大学医学部主任教授・心臓血管外科 </p>	

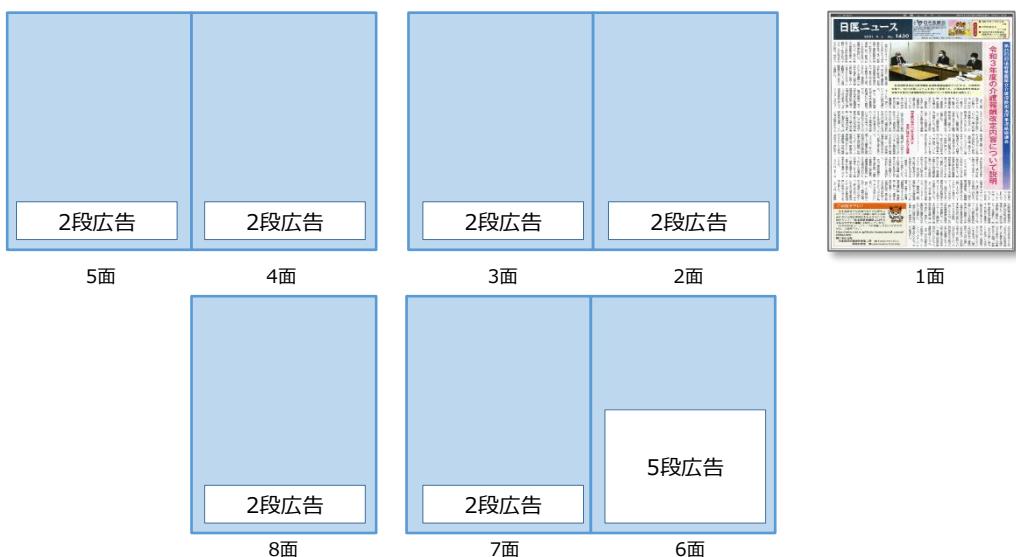
*1 日本医師会雑誌には、通常号のほか、別冊、特別号があります。今回は通常号のご紹介です。

*2 広告種別は、表紙周り、目次裏、記事中等もございます。こちらの情報は別途、お問い合わせください。



協賛 料金表②

項目	内容	
発行形態	毎月2回（5日、20日）	
判型	タブロイド版	
発行部数	135,000部	
編集方針	日本医師会では会員向けに「日本医師会雑誌」と「日医ニュース」を発行しています。日本医師会雑誌は医学や医療に関する情報を提供することに主眼が置かれ、日医ニュースは医師会の諸活動の情報伝達にポイントが置かれています。	
発行		
カラー (枠付き)	全2段（65mmx235mm）	258,000円
	全5段（170mmx235mm）	645,000円
モノクロ (枠付き)	全2段（65mmx235mm）	178,000円
	全5段（170mmx235mm）	445,000円
1号当たりの 広告数	全2段広告（2面、3面、4面、5面、7面、8面：計6枠） 全5段広告（6面：計1枠）	



協賛 料金表③

媒体名	日医ニュース『健康ぶらざ』
広告料金（円）	1号につき 2,000,000 ※広告面が記事広告の際は、別途費用が発生する場合があります。
仕様	B4判2ページ、4色刷り
広告バースト/体裁	ポスター面：天地1.6cm×左右24cm 広告面（全面広告）：天地34.5cm×左右24cm ※広告は縦版のみ ※日本医師会担当部署での広告審査があります。また、新規出稿企業については別途企業審査があります（但し、OTC医薬品、健康食品は不可）。
発行部数	135,000部（日医ニュースへの同梱および関連団体に送付）
発行回数/枠数	毎月1回（5日）発行 *日本医師会雑誌に同梱
主な協賛社 (直近2年間)	第一三共、大日本住友、参天製薬、佐藤製薬、第一三共エスファ、フクダ電子、バイオジエン・ジャパン、久光製薬、ポーラファルマ、杏林製薬ほか

【お問合せ先】

株式会社協和企画 日本医師会雑誌担当

〒170-8630
東京都豊島区東池袋3-1-3
ワールドインポートマートビル8階
e-mail: ad@kk-kyowa.co.jp



株式会社協和企画

www.kk-kyowa.co.jp/